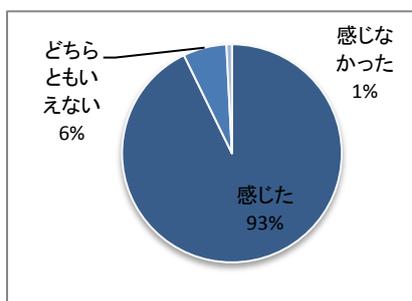


# 平成27年度 民生委員への研修会「共生社会の実現に向けて」 アンケート集計結果

開催日時	参加者数	アンケート回収
① 平成27年11月27日 10:00～	—	42
② 平成27年11月30日 10:00～	—	44
③ 平成27年11月30日 14:00～	—	43

## 1 本研修会は「必要」と感じるものでしたか？

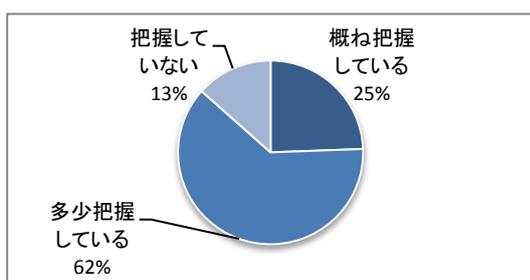
	感じた	どちらともいえない	感じなかった
①	37	3	1
②	40	2	0
③	39	3	0
合計	116	8	1



- 内容が精神論になっている。具体策のある内容にすべき。
- 当事者の方の話は理解できましたが、市の方の話はただ文章を読み上げただけで内容が浅い。
- 行政の説明が漠然としたものでわかりづらい。
- 実体験は真に迫る。本当はもっと切実であろう。
- ともに生きる条例の作成された背景や障がいを持っている方の生の声を聞くことができ理解が深まった。
- 精神障がいは今の社会では多くなってきていると思う。本人、家族の方のお話が身にしみる思いでした。
- 障がいのある人の生の声、家族の声が聞けたことは今後大変よい。
- 障がいの方の話を聞いて参考になりました。

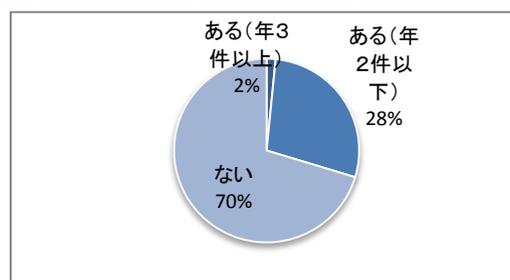
## 2 ご自分の担当地区に住む障がいのある人のことをどの程度把握していますか。

	概ね把握している	多少把握している	把握していない
①	11	24	5
②	12	25	7
③	8	30	5
合計	31	79	17



## 3 民生委員業務において障がい福祉関係の相談案件を受けたことがありますか（過去1年間で）。

	ある（年3件以上）	ある（年2件以下）	ない
①	0	13	29
②	2	12	29
③	0	11	32
合計	2	36	90



## 4 障がいのある人が地域で暮らすに当たったの問題、障壁などで思い当たるものがあれば記入してください。

### (1) 地域との関係性

- ・地域に障がい者がいることを把握しても、個人情報保護という面からなかなか積極的に踏み込めていけない。
- ・個人情報に壁になって自治会、防災士等と情報が共有できない。
- ・障がいのある人が地域の中でどれくらいいるのか、市からの情報が届かない。
- ・オープンにしていないところがあり、なかなか打ち解けられません。
- ・地域との交流をさけていっちゃうように思う。こちらからの声かけが難しい。
- ・地区の中で安心してくらしできるように皆がサポートするルール作りが必要
- ・障がいのある人と地域の人々との出会いの場が多くてもれば良いのですが。
- ・地域が障がいのある人を知り、地域全体で見守り、お手伝いできるように地域全体で見守り、お手伝いできるようになるといいと思う。
- ・道路やトイレなどまだまだ改善しなければならないところがあると思います。別府は福祉のまちとして住みよいまちをめざしてほしいと思います。
- ・地域の中で障がい者への認知度が低く、研修など啓発が遅れている。

### (2) インフラなど

- ・道路の段差、地区の公民館に障がい者用トイレがないことなど。
- ・町内がクレーンになっているので、手動の車いすは下りだけ自力可能、交差点、三叉路が多い。路面不具合。
- ・信号の時間を長くする（障がいのある人が渡るには短すぎる）
- ・きっちりした歩道がないところが多い。
- ・道路、公園等公共施設の出入口の段差が多い。

### (3) その他

- ・点字ブロックに物を置いている。身障者用駐車場に普通の車が止まっている。
- ・収入源、住居
- ・ひとりぐらしの障がい者はいないのでよくわからないが、災害の際の対応を心配しています。
- ・特別な扱いをしないよう一般の人と同じようにゆつくりと接していけばよいと思う。特別な眼で見る、さける等が障壁になることだと思う。

## 5 研修会で学んだことを今後の職務にどのように取り入れますか。

- ・今回参加していない他の民生委員さんにも伝えたい。地域の障がい者の理解と把握について再認識したい。
- ・最初に障がい者の方々と近隣に住む人のおつきあいを深めていくようとりもちたい。町内行事に参加できるように配慮したい。
- ・個人情報だからという理由で、地域内の情報を共有することが難しい状況だが、やはり共有することは大切だと感じたので、地域で話しあっていきたい。
- ・災害時個別支援計画が大事。自治会と一緒に取り組みたい。
- ・地区の中の自治会等で問題等を話し合いたいと思います。
- ・民生委員の定例会で話し合ってみたいと思います。
- ・自治会とも相談し、障がい者ともつながりを強くし、災害時についてもみんなとともに考える時間をつくりたい。
- ・自宅で引きこもっている人はなかなかつかめませんが、高齢者も多い中、精神的なサポートを必要とする人も多くなっています。
- ・障がい者を見かけても声をかけてよいのかとまどっていましたが、なるべく手助けができるように困っているときには声をかけていきたい。
- ・生の現実の声が聞けて、白杖の方をもっと見よう、お手伝いしようと思いました。
- ・自治会での避難訓練に障がいのある方々を呼び込みたいと思います。

## 6 その他研修会全般について、ご意見があれば記入してください。

### (1) 研修への意見

- ともに生きる条例は、実情は進んでいないのではないか。どうも絵に描いた餅のような気がしてならない。
  - △体験などを取り入れてはどうですか、やはり身体で理解できることは多いと思いますので。
  - △方向性だけの一般論だけでなく、現実的に問題案件を出す中でどのように解決すべきか？受講者に検討させる課題を提案すべきだと思います。
  - 障がいのある方、障がいのあるお子さまを持った方の生の声を聞くことができたことがよかったです。思いがとても強く伝わりました。
  - 今までで生の声が聞けることはなかったので、すばらしい企画だったと思います。
  - 資料がとても見やすく、内容もよかったです。
  - どこにつなげればいいのかという具体性のある研修だったので、参考にしたい。
  - 勇気ある発表に感動しました。真摯に生活しているのが分かり良かったです。聞かないと分からないことです。実のある研修でした。
  - 貴重なカラー資料と機会をいただき身のひきまいる思いです。河野さんのお話はとても分かりやすかったです。個別支援についてや、自治会
  - 実情については、分かりやすい説明で、よくわかった。入り込み方も提案してほしい。有意義な研修でした。
- や地域との連携つなごりの必要性を再認識しました。災害時のみでなく、日ごろからの共助が大切だと思う。

### (2) その他意見

- ・地域の中でもっと話し合いをすべき。
- ・いつ誰がなるかもしれないことなので、お互いに少し関心を持つ必要があると思う。
- ・障がいをもつ人との町内での心ひらいた交流が大切だということを改めて感じた。日ごろのつきあいが、災害時にも非常時にも大きな助けとなると思う。
- ・個人情報との関わりもありますが、十分考慮した上で、地域の自治会長や民生委員には、障がい者本人の承諾を得た上で知らせてほしいと思います。(同様の意見複数あり)